

平成28年度事業報告

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

I 平成28年度重点課題

1 安全就業の自己啓発と実践

センター事業の根幹である「安全は全てに優先する」を全会員が認識し、会員一人ひとりに安全意識の浸透を図り、「私は事故を起こさない」「危険予知」を実践するための事業を行った。安全対策については、Ⅱ事業実施報告 6 その他事業 (1) 安全就業対策で詳しく述べるが、今年度は新たな取り組みとして、職群班の会員を対象に各自の年間の安全行動計画を立て、その計画が実践されているかを確認出来る報告書を作成。会員個々の安全の意識の高揚に努めた。

2 会員の増強

会員獲得のため、会員募集チラシを市内全戸に配布し会員の増強に努めた。また、退会会員を減らす方策として、中長期計画にもある会員に対しての「魅力あるシルバー人材センターの構築」について理事会で検討。7月の理事会において、地域高齢者並びに会員の生きがいを推進するために「生きがい事業推進委員会」を発足。手始めに理事を中心とした委員会主導による会員親睦日帰り旅行を実施し、多くの会員が就業以外の場でも仲間作りが出来るように努めた。

3 就業機会の拡大

新たな会員の就業の場の確保のため、理事会では平成29年4月1日から「介護予防・日常生活支援総合事業」「労働者派遣事業」の事業所設置の準備を行った。

介護予防・日常生活支援総合事業については、積極的にあきる野市主催の説明会に参加し事業開始の準備を行い、事業所開設の登録申請をした。

労働者派遣事業については、公益財団法人東京しごと財団（以下、財団という。）に対し労働者派遣事業の事業所設置の申請書を提出、財団の理事会承認後、12月には東京都労働局より正式に当センターの事業所設置許可が受理された。

また、理事が中心となりスーパーマーケットを始めとする63の事業所を訪問、請負の就業に併せ労働者派遣事業についても就業開拓を行い就業機会の拡大に努めた。

Ⅱ 事業実施報告

1 情報の収集及び提供

あきる野市産業祭等に参加し、当センターの事業内容あるいは活動状況を市民に提供するとともに、地区ごとの清掃ボランティア活動を実施し、情報の収集及び提供を図った。

- (1) 会報「あきる野」を2回発行し、町内会・自治会等を通じ回覧し、センター事業に関する情報を提供した。
- (2) あきる野市全戸に会員募集チラシを配布した。
- (3) あきる野市産業祭、財団主催による小金井宮地楽器ホールで開催された「いきいきシルバー活躍応援フェスタ」に参加し、センター事業に関する情報の収集及び提供を行った。
- (4) 市の協力を得て市広報に「補習教室」「パソコン教室」「刃物研ぎ」等の事業を掲載し、広く市民に情報の提供を行った。
- (5) 生活支援事業所設置に向けて、市の主催する説明会等に参加し情報の収集に努めた。
- (6) 労働者派遣事業の開始に向けて、財団が主催する会議・研修に参加し情報の収集に努めた。
- (7) センター事業に対する財団主催の各種会議に参加。また、財団発行の「シルバーとうきょう」、(公社)全国シルバー人材センター事業協会発行の「月刊シルバー人材センター」を通じて情報の収集に努めた。

2 調査研究

就業機会の開拓・拡大のため会員及び高齢者の就業に係る調査研究を次のように行った。

- (1) 毎月理事会において就業実績及び会員の入退会状況を分析し、今後の運営の検討を行なった。
- (2) 請求書発行時に発注者に対しアンケート調査を実施し、その内容を分析調査し、今後の検討を行った。

3 就業に関する相談

随時、窓口にて市民に対し就業の相談を受け付け、会員の登録を希望する高齢者に対しては、月一回の会員入会説明会を実施した。

また、毎月第2、第4月曜日の就業相談日に会員に対し、就業相談を行った。

4 就業機会の開拓及び提供

希望と能力に応じた就業機会の開拓と提供を図るため、官公庁・企業、事業所及び一般家庭に高齢者就業の理解を求め就業機会の開拓及び提供を積極的に行った。

(1) 開拓について

開拓については、会報「シルバーあきる野」、チラシ等を町内会・自治会に回覧し就業開拓に努めた。上記でも述べたが理事が中心となりスーパーマーケットを中心に63の事業所等を訪問、就業開拓活動を実施し就業機会の確保を図った。

あきる野市に対しては、正・副会長、事務局長により年2回、あきる野市長等に面会し、シルバー事業に対するより一層の理解をお願いし、公共事業の新規開拓にも努めた。

(2) 就業の提供について

提供については、就業会員の増加を図るためローテーション制を促進。分かち合いによる公共継続就業の交替、増員を積極的に行い、未就業会員に対して就業の機会の提供に努めた。

	年度末 会員数	就 業 実人員	就 業 率	受 注 件 数	延実人員 (月平均)	契約金額 (単位：円)
28年度	674	624	92.6%	2,945	61,664 (5,139)	280,957,302
27年度	689	614	89.1%	3,082	61,656 (5,138)	282,354,818
増減	△15	10	3.5	△137	8	△1,397,516
増減率%	△2.2%	1.6%	3.9%	△4.4%	0.01%	△0.5%

5 研修及び講習

(1) 事業関係研修・講習（財団・安全講習会含む）

研修内容（講師）	対 象 者	開 催 日	場 所	参加人数
小学校児童通学案内 研修(福生警察署)	小学校児童通学 案内就業会員	平成28年4月4日(月)	センター2階会議室	59名
草刈研修① (内部講師)	草刈機使用会員	平成28年5月17日(火)	センター2階会議室 グリーン運動場	39名
草刈研修② (内部講師)	草刈機使用会員	平成28年5月24日(火)	センター2階会議室 グリーン運動場	31名
筆耕体験講習 (東京しごと財団 専門講師)	一般市民 (60歳以上)	平成28年6月13日(月)	センター2階会議室	24名

接遇研修 〔 合同会社 アップグロース 〕	前年度欠席者 新入会員	平成 28 年 10 月 17 日(月)	中央公民館音楽室	31名
自転車安全講習会 「シミュレーター」 (東京しごと財団)	安全管理委員	平成 28 年 10 月 19 日(水)	(公財)東京しごと財団	2名
生活支援サービス 研修 (東京しごと財団)	家事援助就業会員	平成 28 年 11 月 10 日(木) 15 日(火)22 日(火)29 日(火) 30 日(水)、全 5 日間	国分寺労政会館	2名
植木体験講習 〔 東京しごと財団 専門講師 〕	一般市民 (60歳以上)	平成 28 年 11 月 29 日(火)	中央公民館研修室	30名
自転車安全講習 (福生警察署)	就業途上に自転車を 使用している会員	平成 29 年 1 月 30 日(月)	センター 2 階会議室	24名
刈払機による 飛び石防止講習 (東京しごと財団)	草刈班会員	平成 29 年 2 月 8 日(水)	国分寺労政会館	2名
就業支援講習 「植木の剪定」 (東京しごと財団)	植木班会員	平成 29 年 2 月 27 日(月) 28 日(火)	中央公民館研修室 中央公民館敷地内	16名
安全リーダー研修 〔 東京しごと財団 安全就業パトロール指導員 〕	安全リーダー (職群班長)	平成 29 年 3 月 7 日(火)	センター 2 階会議室	25名
自動車安全運転講習 (福生警察署)	就業において自動 車を運転する会員	平成 29 年 3 月 14 日(火)	センター 2 階会議室	37名

(2) 会員研修

研修内容(講師)	対象者	開催日	場所	参加人数
フォローアップ 研修 〔三役・担当理事・ 職員 〕	新入会員	平成 28 年 4 月 14 日(木)	センター 2 階会議室	11名
		平成 28 年 6 月 9 日(木)		11名
		平成 28 年 8 月 10 日(水)		11名
		平成 28 年 10 月 13 日(木)		16名
		平成 28 年 12 月 8 日(木)		11名
		平成 29 年 2 月 9 日(木)		9名

(3) 役員研修等

研修内容	対象者	開催日	場所	参加人数
植木剪定安全 研修会	常務理事 安全管理委員長	平成28年4月8日(金)	(公財)東京しごと財団	2名
監事研修	監事	平成28年4月12日(火)	(公財)東京しごと財団	1名
会長会議	副会長	平成28年7月7日(木)	(公財)東京しごと財団	1名
安全リーダー研修	安全管理委員長	平成28年7月25日(月)	国分寺労政会館	1名
新任理事研修	理事	平成28年7月27日(水)	(公財)東京しごと財団	7名
転倒予防勉強会	理事	平成28年8月24日(水)	(公財)東京しごと財団	1名
就業開拓研修	理事	平成28年9月7日(水)	国分寺労政会館	3名
安全大会	理事	平成28年9月30日(金)	(公財)東京しごと財団	2名
シルバー人材 センターフォーラム	理事	平成28年11月11日(金)	(公財)東京しごと財団	3名

(4) 第6地域関係研修及び会議

研修及び会議内容	対象者	開催日	場所	参加人数
第6ブロック 安全就業研修会	安全管理委員	平成28年9月8日(木)	(公社)立川市 シルバー人材センター	5名
第6ブロック三役研修 「介護予防・日常生 活支援総合事業」	会長 副会長 常務理事	平成29年2月9日(木)	(公社)立川市 シルバー人材センター	3名
第6ブロック 「転倒予防講習会」	会員	平成29年2月10日(金)	センター2階会議室	27名

6 その他事業

(1) 安全就業対策の推進

28年度の重点課題にもあるように、センター事業の根幹である「安全は全てに優先する」を全会員が認識し、会員一人ひとりに安全意識の浸透を図り、「私は事故を起こさない」「危険予知」を実践するための事業を行った。

- ① 安全管理委員会 6回実施
- ② 安全リーダー会議 1回実施
- ③ 新入会員フォローアップ研修に際し、(公財)東京しごと財団発行の「安全のしおり」を活用し安全就業の指導を行った。
- ④ 安全講習会はセンター主催の技能研修と合わせ実施。

- ⑤ 安全管理委員会単独の研修会として上記5研修・講習（1）事業関係研修・講習のとおり「自転車安全講習」「自動車安全運転講習」「安全リーダー研修」の各研修を独自で実施した。
 - ⑥ 安全朝礼を毎月月初に開催した。
 - ⑦ 「安全就業強化月間」を4月、7月実施、安全就業の徹底を図った。
 - ⑧ 平成27年度の死亡事故を風化させないため、「271120・安全宣言・安全は全てに優先する」をスローガンにし、毎年11月20日を安全日に定め、安全の意識高揚を図った。
 - ⑨ 安全就業の徹底を図るため、傷害事故等の就業現場を巡回し、聞き取り調査を実施。事故の分析、対策を検討し再発防止に努めた。
 - ⑩ 安全管理委員会だよりを毎月一回発行し、会員個々による安全意識の向上に努めた。
 - ⑪ 会員の健康管理として、市で実施する市民健康診査等の積極的な受診と、東海大学八王子病院健康管理センターとの連携による人間ドックの受診を呼び掛け、自らの健康管理の重要性の周知を図った。
 - ⑫ 安全管理委員・理事が中心となり、安全巡回パトロールを12回実施。安全就業の指導を行った。
 - ⑬ 職群班の会員を対象に各自の年間の安全行動計画を立て、その計画が実践されているかを確認出来る報告書を作成。会員個々の安全の意識の高揚に努めた。
- (2) 長期就業の適正化及び80歳以上就業会員の安全就業に対する面接
就業の適正・公平・安全を確保し、全ての会員が能力に応じて公平に働く機会が得られるよう「自主・自立、共働・共助」の事業理念の実現を目指し、分かち合いの精神のもと、長期就業の適正化について理事会で検討した。
- その結果、公共の契約を中心に6箇所の対象場所について選定を行い、平成28年度末の交代者10名を決定。未就業者、非継続就業者合わせて203名に対し就業案内を通知した。それに基づく就業希望者は43名であった。円滑な交代を図るため、理事が希望者に対し面接をし、更に理事会を通じて交代者の選考を行った。
- 80歳以上就業会員の安全就業に対する理事による面接を実施し、44名の会員に対して安全の確認を行った。
- (3) 女性委員会活動
女性会員の活性化、増強を図るため以下の活動を実施した。
- ① 女性委員会議 4回開催
 - ② 女性委員会の活動状況を「会報」並びに「女性委員会だより」（4回

発行)」を発行し周知を図った。

- ③ 8月に女性会員に対しアンケート実施、今後の委員会運営の方針について検討した。
- ④ 女性委員会活動報告

活動内容	開催日	場所	参加人数
会員交流会 (懇親会)	平成28年5月24日(火)	おくたま路	23名
除草ボランティア	平成28年6月6日(月)	センター敷地内	26名
	平成28年9月26日(月)	センター敷地内	21名
福祉施設ボランティア	平成28年6月30日(木)	特別養護老人ホーム 福楽園	15名
料理教室 (女性会員対象)	平成28年10月28日(金)	中央公民館	24名
料理教室 (男性会員対象)	平成29年1月30日(月)	中央公民館	22名
編み物教室	毎月3回実施	センター作業場	14名
健康体操教室	毎月2回実施	センター会議室	10名

(4) 社会奉仕活動

地域において健康に働けることに感謝し、また、生き甲斐の充実及び社会参加の推進を図るため以下の社会奉仕活動を行った。

活動内容	開催日	場所	参加人数
社会奉仕デー	平成28年5月31日(火)	あきる野市役所・秋川駅周辺・武蔵五日市駅周辺・武蔵増戸駅周辺及び森の下公園	167名
地区ボランティア			
第1地区	平成28年10月2日(日)	中央公民館・平沢西住宅周辺	50名
第2地区	平成28年10月26日(水)	秋川駅周辺・水道局から市役所通り周辺	30名
第3地区	※雨天中止		0名
第4地区	平成28年10月9日(日)	御堂会館から氷沢橋周辺	35名
第5地区	平成28年10月23日(日)	武蔵増戸駅から山田交差点周辺及び森の下公園	39名
第6地区	平成28年10月15日(土)	りそな銀行から武蔵五日市駅周	27名

		辺	
合奏班慰問ボランティア	平成 28 年 6 月 28 日 (火)	ケアセンター そよ風	5 名
	平成 28 年 11 月 2 日 (水)	高齢者在宅サービスセンター 開戸センター	5 名
	平成 28 年 12 月 22 日 (木)	高齢者在宅サービスセンター 開戸センター	5 名
	平成 29 年 2 月 28 日 (火)	デイケアセンター そよ風	3 名
	平成 29 年 3 月 7 日 (火)	高齢者在宅サービスセンター 五日市センター	2 名

(5) 会員の確保と広報活動

会員確保と広報活動については、以下の事業を行った。また、会員募集用並びに就業開拓用のチラシを作成した。

活 動 内 容	内 容 説 明	実施回数
会員入会説明会	60 歳以上の高齢者に対しセンターの事業内容説明し、入会を募った。	1 2 回 (毎月 1 回)
会報「あきる野」の発行	会員及び関連団体に配付、町内会・自治会を通じて回覧、また、ホームページにも掲載し、センターの事業活動の周知を図った。	2 回
市広報紙の活用	市の協力を得て、補習教室・パソコン教室・刃物研ぎ等の開催のお知らせを広く市民に周知した。	8 回
会員等による P R	会員による P R	随時
	就業開拓委員による P R	随時
	社会奉仕デー、市内 6 地区でのボランティア開催並びに市主催による産業祭に参加し、事業内容等の周知等を図った。	8 回
その他 P R	ホームページにより会員の募集及びセンターの P R を行った。	常時
	センター所有の自動車に P R 用マグネットを貼り市民への P R 活動を行った。	常時

7 会 議

- | | | |
|-----------|-------------------------------|---------|
| (1) 定時総会 | 平成 28 年 6 月 17 日 (金) 秋川キララホール | 1 回開催 |
| (2) 常任理事会 | | 1 4 回開催 |
| (3) 理事会 | | 1 2 回開催 |
| (4) 監査会 | | 3 回実施 |

(5) 研修委員会	4回開催
(6) 広報委員会	7回開催
(7) 女性委員会	4回開催
(8) 就業開拓委員会	6回開催
(9) 生きがい事業推進委員会	4回開催
(10) 安全管理委員会	6回開催
(11) 地区会議 [6地区]	各2回開催
(12) 理事・監事・地区委員合同会議	2回開催

8 事務局

- (1) 事務局職員はセンター事業を適正に運営するために、引いては役員、会員のサポート役を担うべく資質の向上に努めた。
- (2) 第6地域共同の事務局長会、次長会、職員連絡会（業務Ⅰ・業務Ⅱ・庶務経理）の各会議に参加し、各分野における関連法規、公益法人の運営に関する情報の収集並びに研究を行った。
- (3) 労働者派遣事業、介護予防生活支援総合事業開設に向けて説明会等に出席、開設に向けての準備・情報の収集に努めた。
- (4) 財団主催による職員研修に積極的に参加し、自己能力の研鑽に努めた。